

令和元年度グランドデザイン策定業務委託仕様書

1 業務名

令和元年度グランドデザイン策定業務委託

2 業務の目的

本業務は、市民サービスに直結する公共施設の老朽化に伴う更新や市民ニーズに即した施設の新設などの対応にあたっては、これまで以上に効率化と集約化が重要であり、地区別の公共施設の配置のあり方など、将来にわたり持続可能なまちづくりを進めるため、その指針となる計画「グランドデザイン」を策定することを目的とする。

策定にあたっては、少子高齢化の進展や今後の社会情勢の変化などを踏まえることとし、市民をはじめ、民間事業者や行政機関など、まちづくりに関わる多様な主体が緊密に連携して、本市が抱える地域課題の解決と本市が目指す将来像の実現に向けて、総合的かつ計画的なまちづくりの方向性を示すものとする。

3 業務委託者

根室市

4 受託者

所定の手続きによる企画提案をし、その内容審査の結果、最良の提案をしたものを選定し、契約の相手方の候補者とする。

5 業務期間

契約締結日から令和2年3月27日（金）まで

6 業務予算の上限額

4,796,000円（消費税及び地方消費税含む。）

7 計画の位置づけ

根室市における最上位計画は、第9期根室市総合計画であり、各行政分野の個別計画や施策は、この計画に即して展開している。

グランドデザインは、上位・関連計画の考えを受け、官民が連携した社会基盤の整備による特色ある地域づくり、地域活性化を進めるために必要な施設整備等に係る事項を定めるものである。

8 策定スケジュール

グランドデザインは、概ね20年から30年後の将来都市像を描くことを目標とし、「第11期根室市総合計画」の目標年次である、令和27年（2045年）を見据えたまちの将来像を可視化し、具現化するものであり、令和4年度までの4年間で策定する。

初年度においては、既存の関係計画などを活用して現状分析を行い、社会情勢等を整理し将来に向けた短期的・中長期的課題を洗い出すとともに、将来活用すべき資源や特徴を分析するものとし、2年目以降の具体的な将来都市像の検討基礎資料を取りまとめる。

また、「根室市創生総合戦略」が計画期間を迎え、令和2年度に向け「第2期根室市創生総合戦略」の改訂及び「根室市人口ビジョン」の見直しを図っているものであり、基礎資料作成にあたっては、新たな総合戦略との関連や整合を図るものとする。

なお、「第9期根室市総合計画」は令和7年までの計画期間であり、「第10期根室市総合計画」は、令和5年度から策定作業に入ることから、グランドデザインを反映させた次期計画となるように進めるものとする。

9 業務内容

(1) 現況分析調査

都市計画マスタープラン、公共施設等総合管理計画などの個別計画や事業計画、各種統計資料等を活用し現状分析する。

(2) 庁内プロジェクトチームの設置・運営

市職員の各セクション及び若手有志（20名程度を予定）で構成する庁内プロジェクトチームを設置し、グランドデザイン構想の基本的事項、進め方、検討すべき課題の洗い出しを行い協議する。（年度内1回程度開催）

(3) 総合戦略及び人口ビジョンの策定支援

上記の現状分析調査を踏まえ、改訂作業を進めている総合戦略及び人口ビジョンの取りまとめ等の支援を行う。

(4) 業務報告書の作成

現況分析調査や根室市を取り巻く社会情勢、庁内プロジェクトチームでの協議結果などを踏まえて、グランドデザイン策定に資する基礎資料の取りまとめを行う。

10 注意事項

(1) 受託者は、根室市情報公開条例・根室市個人情報保護条例を順守し、業務上知り得た個人情報等の秘密を他人に漏らしてはならない。業務終了後においても同様とする。

(2) 成果物の所有権、著作権、利用権は本市に帰属するものとする。

(3) 本業務により得られた成果品および資料、情報等は、本市の許可無く他に公表、貸与、使用、複写、漏洩をしてはならない。

(4) 業務完了後に、受託者の責任に帰すべき理由による成果物の不良箇所があった場合、受託者は速やかに必要な訂正、補足等の措置を行うものとし、これに対する経費は受託者の負担とする。

11 成果品及び実績報告書

(1) 業務報告書 5部

(2) 上記の電子データ 1部